



関西オープンファクトリーフォーラム

Vol.5 “オープンファクトリーがもたらす効果” を開催しました！

今回は南海電気鉄道株式会社が主催する「MEET-UP # BIZ TAG NANKAI」の1セッションとして関西オープンファクトリーフォーラムを開催させていただきました。

作り手がものづくりの現場を公開し、一般のお客さまを含む様々な方に見学・体験等していただく取り組み「オープンファクトリー」は、企業プロモーションや他社とのビジネスチャンス獲得のみならず、人材育成効果が期待できます。

今回のVol.5では、関西におけるオープンファクトリーの仕掛け人や実施企業が、オープンファクトリーを実際に開催し、得られたメリットや当初は想定していなかった効果について語り合いました。以下、概要を報告します。

日時： 令和3年9月27日(月) 15:00～16:00

会場： オンライン開催(撮影会場：南海電気鉄道株式会社)

まず、近畿経済産業局 津田係長より、オープンファクトリーの定義・意義を紹介。魅せる現場で躍動する「現場の方々」が主役であり、オープンファクトリーを通して「人材」「会社」そして「地域」が成長する仕組みを説明し、関西各地に広がる地域一体型オープンファクトリーの状況、そして新たに生まれる取組の兆しについて紹介しました。

地域一体型オープンファクトリーとは…

#BIZ TAG NANKAI



ものづくりに関わる中小企業や工芸品産地など、一定の産業集積がみられる地域を中心に、企業単独ではなく、地域内の企業等が面として集まり、生産現場を外部に公開したり、来場者にものづくりを体験してもらう取組

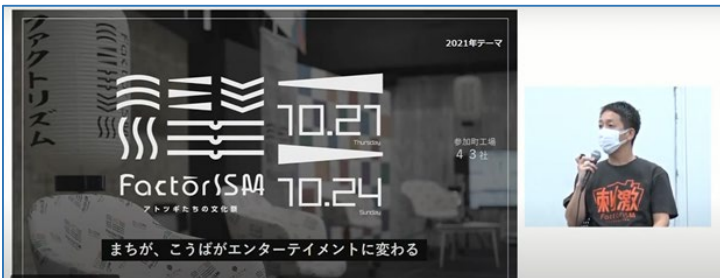
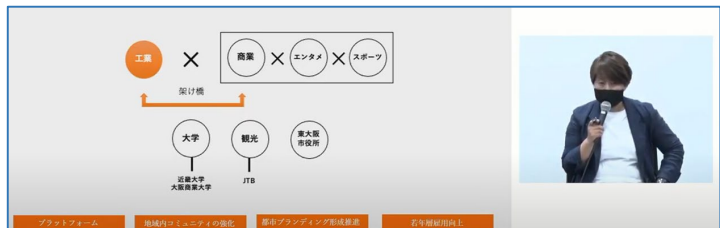


その後、各登壇者からは自己紹介を兼ねて、それぞれの地域における地域一体型オープンファクトリーの取組について紹介。

株式会社盛光SCMの草場氏からはものづくりのまち東大阪市が舞台となる「こーばへ行こう！」について。

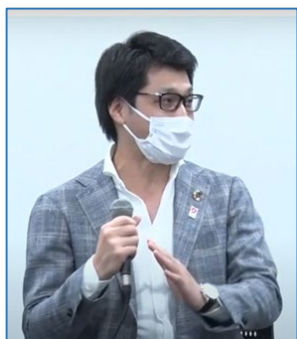
株式会社小泉製作所の小泉氏からは八尾市・東大阪市・堺市・門真市と大阪府下広域の市町村に跨る企業による「FactorISM」について。

そして株式会社ポートフォリオの延生氏からは、11月に開催予定の「貝塚オープンファクトリー」についてご紹介いただきました。



既に開催経験のある「こーばへ行こう！」の草場氏や「FactorISM」の小泉氏からは、取組を通して参加企業各社の中での意識変化・人材育成はもちろんのこと、地域内企業間にこれまでにはなかった関係性が構築されると、「地域」という枠組みでの相互成長、すなわちインナー・ブランディングに繋がっていると説及。

これに対して、これから開催に向けて取り組んでいる「貝塚オープンファクトリー」の延生氏からは、開催に向けて参加企業同士で会議を重ねていく中で、非常に共感できるポイントであると共に、これまで先駆的に取り組まれてきた他地域の動きを是非参考にしたいとのコメントがありました。



延生氏



草場氏



小泉氏

最後に近畿経済産業局からは、今年度の事業テーマは「共創機会の創出」と説明。今回のイベントを皮切りに今年度は様々な地域でキープレイヤー同士の緩やかなネットワークを形成すべく開催するフォーラムイベントについて言及しました。